

基本目標 2 住み慣れた地域で安心のある生活
基本施策 3 認知症支援策の推進

担当課	高齢福祉課
-----	-------

施策（4）認知症高齢者の見守り支援

認知症高齢者ができる限り住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、市や高齢者よろず相談センターによる見守りだけでなく、地域の住民や企業等も含めた、社会全体で見守る体制の構築を強化します。

取組結果
ア チームオレンジの体制整備【重点事業】 チームオレンジフォローアップ研修を実施しました（参加者数82人）。各地域の活動発表を行うことで、地域の認知症カフェやサロン等の活動につながることができました。また、認知症カフェ登録団体交流会（平塚保健福祉事務所、大磯町、二宮町と共催）を開催しました。参加団体は、15団体(24人)です。内容は、認知症カフェをの在り方についての講演と、グループワークを実施しました。 イ 企業との協定に基づく地域見守り活動の促進 新たに1事業者と協定を締結しました。すでに協定を締結している事業者については、取組内容や、協定内容の社員・スタッフへの意識付け等についての調査を行いました。協定に基づく事業者からの情報提供は10件あり、安否確認等迅速な対応につながりました。 ウ 認知症等行方不明SOSネットワークシステム 行方不明となった高齢者の早期発見・保護、身元確認を行うため、関係機関と情報を共有する認知症等行方不明SOSネットワークシステムを運用し、家族等からの申込みにより事前登録を行いました。 オ ミーティングセンター及び認知症カフェの設置と運営支援 認知症の人と家族への一体的支援プログラムに取り組むミーティングセンターに、運営にかかる費用の一部助成を行いました。申請団体数は3団体です。また、認知症の人やその家族と地域の方が住み慣れた地域で、仲間づくりや生きがい支援、専門職等と相互に情報交換し、安心して集える居場所として、認知症カフェをホームページ等で広く市民に周知を行いました。認知症カフェは18カ所になっています。このうち、企業と連携して開設した認知症カフェは3カ所で、軌道に乗るまで立ち上げ運営支援を行いました。全体で合計回数213回開催され、参加者数は延べ3,112人となりました。

課題及び対応策
ア チームオレンジの体制整備【重点事業】 等 高齢者よろず相談センターでのチームオレンジメンバーへの研修や活動の場の提供を継続します。チームオレンジメンバーの高齢化も課題になっているため、企業や認知症疾患医療センターと協力し、認知症サポーター養成講座や認知症カフェ等の社会資源の場を作っていきます。 イ 企業との協定に基づく地域見守り活動の促進 社会全体で見守る体制の構築には継続的な事業者の見守りが不可欠なため、協定を締結している事業者への調査を定期的に行い、見守りの意識の継続を図り、見守り活動の促進につなげます。また、新規事業者の開拓も引き続き行います。 ウ 認知症等行方不明SOSネットワークシステム 事前登録の周知が課題です。事前登録が行方不明時に迅速な対応につながるため、広報やホームページ等周知方法を検討し、ネットワークシステムの活用につなげていきます。 オ ミーティングセンター及び認知症カフェの設置と運営支援 本人の意欲向上及び家族の介護負担感の軽減と家族関係の再構築を図るため、ミーティングセンターの団体等を支援することを目的に、運営にかかる費用の一部を助成する取り組みを継続します。また、認知症カフェについて、広く市民に周知したり、新たな企業と連携した認知症カフェ等の運営を支援します。

【事業】		事業名	事業量	R 4	R 6	R 7	R 8
ア	チームオレンジの体制整備【重点事業】	チームオレンジフォローアップ研修	実績	－	1回	1回	1回
			進捗状況	－	1回	1回	
			協定締結数	－	16カ所	17カ所	18カ所
イ	企業との協定に基づく地域見守り活動の促進		実績	16カ所	16カ所	17ヶ所	
			進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	
			新規登録者数	－	40人	40人	40人
ウ	認知症等行方不明SOSネットワークシステム		実績	43人	30人	52人	
			進捗状況	－	若干遅れている	予定どおり	
			利用者数	－	40人	40人	40人
エ	認知症等行方不明SOS見守りGPS貸与事業		実績	36人	延べ40人	延べ37人	
			進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	
			ミーティングセンター設置数	－	2カ所	2カ所	2カ所
オ	ミーティングセンター及び認知症カフェの設置と運営支援		実績	2カ所	3カ所	3カ所	
			進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	
			交流会開催数	－	1回	1回	1回
			実績	1回	1回	1回	
			進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	

基本目標 2 住み慣れた地域で安心のある生活

基本施策 4 高齢者生活支援体制の構築

担当課	高齢福祉課、福祉総務課、収集業務課、交通政策課
-----	-------------------------

施策（1）生活の安心・安全確保

ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯は増加傾向にあり、地域における安否確認や見守り体制の強化が必要となってきました。ひとり暮らし高齢者等が安心して住み慣れた地域で暮らすことができるよう、高齢者の日常活動についての援助や支援、経済支援等につながる事業を推進し、その周知に努めます。

取組結果
ウ 軽作業代行事業 等 高齢者単身世帯・高齢者のみ世帯に対して、軽作業代行（利用者44人・延べ利用時間176時間）や通院介助（利用者12人・延べ利用時間129時間45分）等による生活の支援を実施するとともに、お話し見守りケータイ（233件）や在宅緊急通報システム（52人）の貸与により市民の安心感を高めることができました。 コ 高齢者サービス情報提供の充実 高齢者を対象とするサービスについて、「高齢者のためのガイドブック」の発行（年間3千部）やホームページへの掲載、高齢者よろず相談センターへの情報提供、「広報ひらつか」への紹介記事掲載等により、多くの市民に周知し、更なる利用促進を図りました。
課題及び対応策
ウ 軽作業代行事業 等 介護保険適用外のサービスの質向上を図るために、高齢者の更なるニーズ把握や地域資源の状況等を考慮しながら、委託事業者や高齢者よろず相談センターとのコミュニケーションを繁茂に取るようにします。また、機器を通じた見守り体制により、見守る側の安心確保と対象者の日常生活上の不安軽減を図ります。 コ 高齢者サービス情報提供の充実 多くの市民に高齢者向けサービスを認知・利用してもらえるように、「広報ひらつか」への案内記事の掲載や高齢者よろず相談センター等の関係機関と協力して、より広く深い周知を図ります。

【事業】

事業名	事業量	R 4	R 6	R 7	R 8
ア お話し見守り歩数計（ひらつかミルック）事業	設置数	－	300件	310件	320件
	実績	266件	253件	233件	
	進捗状況	－	若干遅れている	若干遅れている	
イ 在宅時緊急通報システム事業	設置者数	－	80人	85人	90人
	実績	81人	57人	52人	
	進捗状況	－	予定どおり	若干遅れている	
ウ 軽作業代行事業	利用者数	－	60人	75人	90人
	実績	46人	47人	44人	
	進捗状況	－	予定どおり	遅れている	
	延べ利用時間	－	360時間	450時間	540時間
	実績	246時間	188時間	176時間	
エ 通院介助事業	進捗状況	－	遅れている	遅れている	
	利用者人数	－	15人	20人	20人
	実績	10人	15人	12人	
	進捗状況	－	予定どおり	遅れている	
	延べ利用時間		115時間	155時間	155時間
オ 高齢者・障がい者のごみの戸別収集事業	実績	78時間	92時間	140時間	
	進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	
	利用者	－	170人	185人	200人
	実績	155人	191人	184人	
	進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	
カ 福祉有償運送事業	福祉有償運送事業者への支援数	－	1回	2回	2回
	実績	－	2回	2回	
	進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	
キ 住民主体地域内移送推進事業	地域内移送支援地区数	－	3地区 (4カ所)	4地区 (5カ所)	4地区 (5カ所)
	実績	延べ3カ所	3地区 (4カ所)	3地区 (4カ所)	
	進捗状況	－	予定どおり	若干遅れている	
ク ノンステップバス推進事業	導入台数	－	1台	1台	2台
	実績	2台	5台	5台	
	進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	
ケ ユニバーサルデザインタクシー推進事業	導入台数	－	11台	11台	7台
	実績	2台	13台	26台	
	進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	
コ 高齢者サービス情報提供の充実	「ガイドブック」の発行	－	1回	1回	1回
	実績	1回	1回	1回	
	進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	

基本目標 2 住み慣れた地域で安心のある生活

基本施策 4 高齢者生活支援体制の構築

担当課	高齢福祉課
-----	-------

施策（2）要介護者及び家族介護者への支援

要介護者、また、在宅で介護している家族の身体的、精神的、経済的負担を軽減するための支援を行います。

取組結果
ア ふとん乾燥・丸洗い事業 等 在宅のねたきり高齢者に対して、ふとん乾燥・丸洗いや訪問理容美容サービスを実施し、健康で衛生的な生活の維持を図りました。 ウ 家族介護用品支給事業 等 在宅で要介護高齢者を介護する家族の経済的負担の軽減を図るために「家族介護用品支給事業」、介護の知識・技術習得による心身の負担軽減につながりリフレッシュできる「家族介護教室」や、家族介護者が何らかの理由で介護できなくなった際の「家族介護者支援短期入所事業」等による支援を行いました。
課題及び対応策
ア ふとん乾燥・丸洗い事業 等 要介護者や家族介護者の負担軽減を図る事業をより多くの対象者やその家族に利用してもらえるように、「広報ひらつか」への案内記事の掲載や高齢者よろず相談センター等の関係機関と協力して広く周知を図ります。 ウ 家族介護用品支給事業 等 「家族介護用品支給事業」においては、国による継続可否が検討されていることを踏まえ、基準の改訂・事業の在り方などについて具体的に検討していきます。また、家族介護教室については各回の内容によっては参加者数に差があるため、今までの傾向から内容（テーマ）を各事業者とともに再考し、参加人数増を図ります。

【事業】

事業名	事業量	R 4	R 6	R 7	R 8
ア ふとん乾燥・丸洗い事業	利用者数	－	20人	25人	30人
	実績	20人	24人	21人	
	進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	
	延べ実施枚数	－	180枚	220枚	260枚
	実績	180枚	189枚	149枚	
	進捗状況	－	予定どおり	若干遅れている	
イ ねたきり高齢者等訪問理容・美容サービス	交付者数	－	130人	130人	130人
	実績	121人	168人	173人	
	進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	
	延べ利用回数	－	270回	270回	270回
	実績	272回	410回	413回	
	進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	
ウ 家族介護用品支給事業	利用者数	－	35人	40人	40人
	実績	38人	68人	47人	
	進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	
エ 家族介護教室	教室の開催（各回違うテーマで実施）	－	市内3会場にて計6回開催	市内3会場にて計6回開催	市内3会場にて計6回開催
	実績	市内3会場にて計5回開催	市内3会場にて計6回開催	市内2会場にて計6回開催	
	進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	
オ 家族介護者支援短期入所事業	利用者数	－	10人	10人	10人
	実績	0人	0人	0人	
	進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	
	延べ利用日数	－	80日	80日	80日
	実績	0日	0日	0日	
	進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	

基本目標 2 住み慣れた地域で安心のある生活
基本施策 5 高齢者居住安定確保の推進

担当課	高齢福祉課
-----	-------

施策（1）良質な高齢者向け住まいの供給促進

特別養護老人ホームなどの施設の充実を図るとともに、サービス付き高齢者向け住宅等、良質な高齢者向けの住まいの供給を促進します。

取組結果
<u>ア 多様な住まい供給促進事業</u> 計画に基づいて整備をする認知症対応型グループホームは、公募で選定した事業者が着工し、令和8年度中の整備完了予定となっています。7年度末の進捗は約5%です。有料老人ホーム等については、神奈川県の実施要綱に定められた事業者からの施設整備に伴う事前相談を行い、適切な施設整備が行われるよう助言しました。
課題及び対応策
<u>ア 多様な住まい供給促進事業</u> 将来の高齢者人口や介護ニーズ等を勘案し、高齢者向け住宅や介護サービス基盤を計画的に確保していく必要があります。立地、医療・介護サービスとの連携体制等を踏まえた高齢者向け住宅の適切な整備が実施されるよう県と連携するとともに、住宅型有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅の設置状況等について市民へ情報提供を実施します。また、特別養護老人ホームについては、当計画において、ショートステイ用の床から本入所用の床への転換数25床としておりましたが、1事業所の未了により計画数に達していません。引き続き、事業所に完了を促し、進捗を管理します。認知症対応型グループホームについては、令和7年度中の整備完了を計画しましたが、事業者の調査企画業務の遅延により整備完了予定が遅れています。引き続き、進捗管理を行います。

【事業】

事業名		事業量	R 4	R 6	R 7	R 8
ア	多様な住まい供給促進事業	R6実績	計画に基づき、特別養護老人ホームについては、過不足の調整のためショートステイ用の床から本入所用の床への転換を23床分行いました。また、認知症対応型グループホームについては、令和8年度中の整備完了に向け、新規整備事業者を公募しました。有料老人ホーム等については、神奈川県の実施要綱に定められた事業者からの施設整備に伴う事前相談を行い、適切な施設整備が行われるよう助言しました。			
		R7実績	計画に基づいて整備をする認知症対応型グループホームは、公募で選定した事業者が着工し、令和8年度中の整備完了予定となっています。7年度末の進捗は約5%です。有料老人ホーム等については、神奈川県の実施要綱に定められた事業者からの施設整備に伴う事前相談を行い、適切な施設整備が行われるよう助言しました。			
		R8実績				

基本目標 2 住み慣れた地域で安心のある生活

基本施策 5 高齢者居住安定確保の推進

担当課	高齢福祉課、建築住宅課
-----	-------------

施策（2）高齢者が円滑に入居できる体制づくり

高齢者の多様なニーズに応じて、その必要とする住まいや施設に円滑に入居できるような体制づくりを行います。

取組結果
<u>ア 高齢者の住まいについての相談体制づくり</u> 高齢者の住み替えニーズや売却、立ち退き等の要望について、年4回の高齢者住まい探し相談会にて14人の相談に対応しました。また、高齢者よろず相談センターにおいて施設に関する相談等個別に対応しました。
課題及び対応策
<u>ア 高齢者の住まいについての相談体制づくり</u> かながわ住まいまちづくり協会や高齢者よろず相談センターと連携し、相談会以外でも高齢者の幅広い住まいに関するニーズに対応できる体制を整えます。

【事業】

事業名		事業量	R 4	R 6	R 7	R 8
ア	高齢者の住まいについての相談体制づくり	相談会開催数	－	4回	4回	4回
		実績	4回	4回	4回	
		進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	
		相談者数	－	20人	20人	20人
		実績	17人	19人	14人	
		進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	
イ	高齢者居住支援事業	連携会議開催数	－	1回	1回	1回
		実績	－	1回	2回	
		進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	
ウ	市営住宅へ的高齢者居住支援	高齢者等への優遇枠の設置	－	募集戸数の1割程度	募集戸数の1割程度	募集戸数の1割程度
		実績	募集戸数の1割程度	募集戸数31戸 ○高齢者等への優遇戸数：4戸 12.9%	募集戸数40戸 ○高齢者等への優遇戸数：9戸 22.5%	
		進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	
エ	養護老人ホームへの入所	被措置者数	－	70人	70人	70人
		実績	70人	72人	73人	
		進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	

基本目標 3 いのちと権利を見守る地域社会
基本施策 1 孤立死の防止に向けた取組の充実

担当課	高齢福祉課、市民情報・相談課
-----	----------------

施策（1）見守り活動の推進

孤立死を防止するため、見守り事業を充実させるとともに、住民同士の助け合いや企業等の地域社会への貢献を促し、日頃から地域での見守り活動を支援します。

取組結果
ア ひとり暮らし調査の実施 民生委員児童委員とともに令和7年度ひとり暮らし高齢者調査を実施し、前回調査対象者であった方について継続的に生活状況の変化を把握しました。また、新たに1,135人を対象として訪問調査を行い、一人暮らしであった方の健康状態や緊急連絡等を把握するとともに、必要に応じて関係機関と情報共有することにより適切な支援につなげました。
イ 新たな見守り体制の構築 ゆめクラブ湘南平塚によるデジタル機器の扱いに関する講座の開催を支援しました。また、スマートフォン利用に関するアンケート調査を行い、SNS等の活用による見守りの有効性等について検討しました。
課題及び対応策
ア ひとり暮らし調査の実施 一人暮らし高齢者が増加する一方、見守り活動を行う人材の確保が難しくなっています。近隣他市の実施方法を参考にしながら民生委員児童委員との意見交換を行い、調査方法の必要な見直しを進めます。
イ 新たな見守り体制の構築 S N S等を活用した地域による新たな見守りについては、高齢者のスマートフォン操作スキルやアプリへの抵抗感、情報セキュリティ対策など、導入にあたって克服すべき課題が多くあります。高齢者へのデジタル機器の普及状況や活用状況を踏まえつつ、見守りにおけるS N S等の有効性等を引き続き検討していきます。

【事業】

事業名		事業量	R 4	R 6	R 7	R 8
ア	ひとり暮らし調査の実施	調査回数	－	1回	1回	1回
		実績	1回	1回	1回	
		進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	
イ	新たな見守り体制の構築	R6実績	ゆめクラブ湘南平塚によるデジタル情報の扱いに関する講座の開催を支援しました。			
		R7実績	ゆめクラブ湘南平塚によるデジタル機器の扱いに関する講座の開催を支援しました。また、スマートフォン利用に関するアンケート調査を行い、SNS等による見守りの有効性について検討しました。			
		R8実績				
ウ	高齢者の消費者被害の未然防止	啓発チラシの発行	－	2回以上	2回以上	2回以上
		実績	3回	2回	2回	
		進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	

基本目標 3 いのちと権利を見守る地域社会
基本施策 2 権利擁護事業の充実

担当課	高齢福祉課、福祉総務課
-----	-------------

施策（1）日常生活を支える権利擁護事業の推進

高齢者の日常生活を支えるため、成年後見制度に関する事業を推進します。

取組結果
<u>イ 成年後見制度の利用相談等</u> 日常生活において権利擁護事業による支援を必要とする方に対し、成年後見制度及び日常生活自立支援事業の利用や、成年後見利用支援センターの活用等を促し、その生活の支援を行いました。 <u>エ 終末期に向けた権利擁護推進事業【重点事業】</u> 各高齢者よろず相談センターにおいては、サロンや通いの場等でエンディングノートを活用した普及啓発活動に取り組み、年37回の活動を実施しました。令和7年9月には(株)鎌倉新書と「終活に係る業務の支援に関する協定」に基づき終活講座を実施し、83名の参加がありました。
課題及び対応策
<u>イ 成年後見制度の利用相談等</u> 成年後見制度の利用につなぐための支援体制の強化が必要です。そのため、高齢者よろず相談センターと成年後見利用支援センター等が連携して利用相談に対応できる体制づくりに努めます。 <u>エ 終末期に向けた権利擁護推進事業【重点事業】</u> 身寄りのない高齢者の身元保証、生活支援、死後事務等に対する支援の必要性が高まっていますが、具体的な支援につながっていません。そのため、講座等を通じた制度の周知や相談体制の強化を行い、具体的な支援につなげていきます。

【事業】

事業名		事業量	R 4	R 6	R 7	R 8
ア	権利擁護のための相談支援及び普及啓発【重点事業】	権利擁護講演会	－	年2回実施	年2回実施	年2回実施
		実績	年1回実施	2回	2回	
		進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	
		広報誌の配布、地域の方が50人以上集まるイベントへの参加	－	40回	45回	50回
		実績	38回	148回	138回	
		進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	
イ	成年後見制度の利用相談等	R6実績	日常生活において権利擁護事業による支援を必要とする方に対し、成年後見制度及び日常生活自立支援事業の利用や、成年後見利用支援センターの活用等を促し、その生活の支援を行いました。			
		R7実績	日常生活において権利擁護事業による支援を必要とする方に対し、成年後見制度及び日常生活自立支援事業の利用や、成年後見利用支援センターの活用等を促し、その生活の支援を行いました。			
		R8実績				
ウ	成年後見制度の利用	成年後見制度出張講座等参加者数【累計】	－	5,800人	6,300人	6,800人
		実績	4,800人	5,903人	6,507人	
		進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	
エ	終末期に向けた権利擁護推進事業【重点事業】	高齢者よろず相談センター等で行う終活講座・講話	－	26回以上	39回以上	42回以上
		実績	25回	42回	37回	
		進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	

基本目標 3 いのちと権利を見守る地域社会

基本施策 2 権利擁護事業の充実

担当課	高齢福祉課、介護保険課
-----	-------------

施策（2）高齢者虐待防止の一層の推進

高齢者虐待の防止、早期発見をするために市民、関係機関、施設従事者へ普及啓発活動を行うとともに、虐待が発生したときの早期対応・早期解決ができるよう体制づくりを推進します。

取組結果
ア 高齢者虐待の知識等の普及啓発 民生委員児童委員の定例会や福祉村、地域のサロン等に向け、普及啓発活動を実施しました。一部の高齢者よろず相談センターでは、作成している情報誌の中で高齢者虐待について掲載し、周知を図りました。 ウ 高齢者虐待の相談体制の充実【重点事業】 昨年度に続き、高齢者よろず相談センターと共に、高齢者虐待対応マニュアルの見直しを行いました。また、弁護士との法律相談についても、複数の高齢者よろず相談センターが活用しており、昨年度は11件の相談件数となりました。
課題及び対応策
ア 高齢者虐待の知識等の普及啓発 年々、虐待に関する相談が増えている状況があるため、引き続き、民生委員児童委員の定例会や福祉村、地域のサロン等に向け普及啓発活動を行い、高齢者虐待の予防・早期発見に努めていきます。 ウ 高齢者虐待の相談体制の充実【重点事業】 対応者の経験に左右されず、共通した高齢者虐待対応が行えるよう、体制を整備していく必要があります。引き続き、誰が見ても分かりやすい高齢者虐待対応マニュアルの作成に努めていきます。 また、法的根拠に基づいた対応が行えるよう、高齢者よろず相談センターへ弁護士の法律相談の活用を促していきます。

【事業】

事業名	事業量	R 4	R 6	R 7	R 8
ア 高齢者虐待の知識等の普及啓発	各高齢者よろず相談センターで事業実施	－	60回以上	65回以上	70回以上
	実績	56回	62回	75回	
	進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	
イ 高齢者虐待に対する支援ネットワークづくり	平塚市高齢者及び障がい者虐待防止等ネットワーク協議会	－	2回	2回	2回
	実績	2回	2回	2回	
	進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	
ウ 高齢者虐待の相談体制の充実【重点事業】	検証会	－	1回	1回	1回
	実績	1回	1回	1回	
	進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	
エ 高齢者虐待に関わる職員の資質向上	実務検討会議	－	1回以上	1回以上	1回以上
	実績	1回以上	1回	1回	
	進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	
オ 虐待を受けた高齢者に対する支援	実務検討会議での検証回数	－	1回以上	1回以上	1回以上
	実績	1回	1回	1回	
	進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	
カ 養護者への支援	R6実績	虐待に至った要因分析は都度行っていますが、政策的取組が必要な課題抽出には至っていないため、現状あるサービスや制度で支援内容を組み立てています。			
	R7実績	虐待に至った要因分析は都度行っていますが、政策的取組が必要な課題抽出には至っていないため、現状あるサービスや制度で支援内容を組み立てています。			
	R8実績				
キ 施設従事者等による虐待の防止	R6実績	虐待防止ネットワーク協議会では、高齢者と障害者を支援する立場の方を対象に外部講師を招いて虐待防止研修を実施しました。			
	R7実績	虐待防止ネットワーク協議会では、高齢者と障害者を支援する立場の方を対象に外部講師を招いて虐待防止研修を実施しました。			
	R8実績				

基本目標 3 いのちと権利を見守る地域社会

基本施策 3 災害に対する取組の推進

担当課	災害対策課、福祉総務課、高齢福祉課、地域包括ケア推進課、障がい福祉課、介護保険課
-----	--

施策（1）避難行動要支援者への支援

避難行動要支援者対策を推進します。

取組結果
ア 避難行動要支援者支援体制の推進事業 平塚市避難行動要支援者避難支援指針に基づき、庁内対策会議及び連絡会議を開催し、庁内連携を図りました。 地域（自治会・民生委員児童委員）及び福祉関係者へ制度説明を行い、避難支援関係者との連携強化、避難行動要支援者支援制度の実効性向上を図りました。 避難行動要支援者支援制度登録者のうち「要介護区分での登録者」「障がい者区分での登録者」について、福祉専門職の参画を得て、個別避難計画の作成を進めました。 また、「難病患者、医療的ケア児」については、神奈川県平塚保健福祉事務所等と連携し、個別避難計画の作成を進めました。
課題及び対応策
ア 避難行動要支援者支援体制の推進事業 個別避難計画については、福祉事業所及び福祉専門職による作成件数をさらに増やす必要があります。そのために、福祉事業所―及び福祉専門職向けの研修会を実施するとともに、庁内福祉部局との連携を強化します。 支援が特に必要な難病患者、医療的ケア児の個別避難計画作成をより円滑に進めて行く必要があります。 難病患者、医療的ケア児について、神奈川県平塚保健福祉事務所との連携だけでなく、庁内福祉部局ともより連携を強化し、個別避難計画を作成します。

【事業】

事業名		事業量	R 4	R 6	R 7	R 8
ア	避難行動要支援者支援体制の推進	R6実績	避難行動要支援者支援制度登録者のうち、まずは要介護3以上の者について、福祉専門職の参画を得て、個別避難計画の作成を進めました。			
		R7実績	避難行動要支援者支援制度登録者のうち、心身の状況から優先度が高い「要介護区分での登録者」「障がい区分での登録者」について、福祉専門職の参画を得て、個別避難計画の作成を進めました。			
		R8実績				
イ	福祉避難所等の開設訓練の実施	訓練の実施回数	－	1回以上	1回以上	1回以上
		実績	1回	1回	1回	
		進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	

基本目標 3 いのちと権利を見守る地域社会

基本施策 3 災害に対する取組の推進

担当課	高齢福祉課、地域包括ケア推進課、介護保険課、災害対策課
-----	-----------------------------

施策（2）避難体制への支援

高齢者の命と生活を守るため、高齢者一人ひとりが平常時から備えるための取組を支援します。

取組結果
ア 災害情報の提供及び避難体制への支援 避難行動要支援者の登録に関するお知らせを介護認定の決定通知への同封や「高齢者のためのガイドブック」に掲載することで情報提供しました。また、介護事業所への運営指導の際に、事業所が作成した避難確保計画の防災担当部局への提出状況を確認するとともに、避難や救済が適切に行えるよう情報提供・周知しました。
課題及び対応策
ア 災害情報の提供及び避難体制への支援 高齢者の生活状況の変化に応じた適切なタイミングで避難行動要支援者制度の案内ができるよう、民生委員や高齢者よろず相談センター等の避難支援等関係者と連携し、継続して情報提供を実施します。 避難確保計画の作成が義務付けられていない介護事業所に対し、避難体制の構築に向けた支援が必要となります。また、非常災害時の計画を作成する等の介護事業所への指導を行い、避難体制の構築が図れるよう支援を行います。

【事業】

事業名		事業量	R 4	R 6	R 7	R 8
ア	災害情報の提供及び避難体制への支援	R6実績	避難行動要支援者の登録に関するお知らせを介護認定の決定通知への同封や「高齢者のためのガイドブック」に掲載することで情報提供しました。また、介護事業所への運営指導の際に、事業所が作成した避難確保計画の防災担当部局への提出状況を確認するとともに、避難や救済が適切に行えるよう情報提供・周知しました。			
		R7実績	避難行動要支援者の登録に関するお知らせを介護認定の決定通知への同封や「高齢者のためのガイドブック」に掲載することで情報提供しました。また、介護事業所への運営指導の際に、事業所が作成した避難確保計画の防災担当部局への提出状況を確認するとともに、避難や救済が適切に行えるよう情報提供・周知しました。			
		R8実績				

基本目標 4 人に寄り添う介護サービス

基本施策 1 介護保険事業の円滑な実施

担当課 介護保険課、地域包括ケア推進課

施策（1）情報提供の充実

介護保険制度や介護サービスの内容に関する情報提供を推進します。

取組結果

ア 介護保険制度の趣旨の普及・啓発

令和6年度に作成した「介護保険ガイドブック」を利用し、市ホームページによる掲載のほか、配布による情報提供・周知を行いました。

イ 介護事業者に関する事業者情報提供の充実

毎月最新の市内介護サービス提供事業所一覧を作成し、市ホームページに掲載するほか、認定結果通知に市内居宅介護支援事業所一覧を同封することで周知を図りました。

両取組等を通じて、介護保険制度や介護サービスの内容に関する情報提供を推進しました。

課題及び対応策

ア 介護保険制度の趣旨の普及・啓発

介護保険制度は改正が多く、内容も複雑であるため、介護サービス利用者への十分な周知が必要です。制度改正情報を収集し、サービス利用者や家族等のデジタル機器の普及状況を勘案しつつ、電子媒体での情報発信を順次行っていくとともに、分かりやすいガイドブックの作成に努めます。

イ 介護事業者に関する事業者情報提供の充実

介護サービス利用者が的確かつ安心して事業者を選択するには、最新の事業者情報の公開が必要です。毎月の事業者情報の更新に加え、情報元のホームページにリンクさせ、事業者情報提供の充実を図ります。

【事業】

事業名		事業量	R 4	R 6	R 7	R 8
ア	介護保険制度の趣旨の普及・啓発	R6実績	令和6年度からの介護保険制度の改正や改定後の介護保険料等を反映した制度概要やサービスの種類などの情報を記載した介護保険ガイドブックを作成しました。ガイドブックは、市ホームページへの掲載のほか、配布により情報提供・周知しました。			
		R7実績	令和6年度に作成した介護保険ガイドブックを利用し、市ホームページへの掲載のほか、配布により情報提供・周知しました。			
		R8実績				
イ	介護事業者に関する事業者情報提供の充実	事業所一覧の更新	－	12回	12回	12回
		実績	12回	12回	12回	
		進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	

基本目標 4 人に寄り添う介護サービス

基本施策 1 介護保険事業の円滑な実施

担当課	介護保険課
-----	-------

施策（2）介護サービスの質の向上

介護給付の適正化や介護保険サービス提供事業者への指導・支援を実施し、介護サービスの質の向上を促進します。

取組結果
<u>ア 介護給付の適正化への取組</u> 要介護認定の適正化を全件、ケアプランの点検を16件、縦覧点検・医療情報との実合を12か月分を年4回に分けて実施しました。 <u>イ 介護事業者への指導・支援の実施</u> 地域密着型サービス事業者及び居宅介護支援事業者に集団指導講習会を各1回実施し、運営指導は年間32件行いました。また、介護事業者への支援では、介護事業所からの提出書類等の文書量の削減を図るとともに、電子申請・届出システムや電子メールを利用した提出を促すことで、来庁機会の削減を図るなど、事業者の負担軽減につなげました。 <u>オ 介護サービス相談員の派遣</u> 利用者の日常的な不安や不満の解消を図るため、介護サービス相談員を施設等に486件派遣し、介護サービス利用者の疑問や不満、不安などを把握しました。また、施設等の担当者と意見交換を行うなどの取組を進めることにより、施設等と利用者の橋渡し役となって介護サービスの質の向上に努めました。
課題及び対応策
<u>ア 介護給付の適正化への取組</u> ケアプラン点検を効率的に実施できるよう、国保連合会の研修に参加すること等でスキルアップをし、ケアプラン点検の件数の増加につなげます。 <u>イ 介護事業者への指導・支援の実施</u> 引き続き介護保険サービス提供事業者の適切な指導を行うとともに、事業者の要望を踏まえた負担軽減に取り組み、介護サービスの質の向上を図ります。 <u>オ 介護サービス相談員の派遣</u> 令和7年度は、介護サービス相談員の退職、受け入れ施設の減少により派遣数目標には届きませんでした。適切な相談員数と派遣施設数を検討し、介護サービスの質の向上につながる派遣制度を目指します。

【事業】

事業名		事業量	R 4	R 6	R 7	R 8
ア	介護給付の適正化への取組	要介護認定の適正化	－	全件	全件	全件
		実績	全件	全件	全件	
		進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	
		ケアプランの点検	－	30件	30件	30件
		実績	37件	22件	16件	
		進捗状況	－	若干遅れている	遅れている	
		縦覧点検・医療情報との実合	－	4回	4回	4回
		実績	4回	4回	4回	
		進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	
イ	介護事業者への指導・支援の実施	運営指導	－	29件	29件	29件
		実績	39件	43件	32件	
		進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	
ウ	介護事業者との連携	R6実績	事業者別連絡会として、おおむね月1回程度で会議と研修会を開催し、情報共有、各種課題の協議及び解決を実施しました。			
		R7実績	事業者別連絡会として、おおむね月1回程度で会議と研修会を開催し、情報共有、各種課題の協議及び解決を実施しました。			
		R8実績				
エ	相談・苦情対応の円滑な実施	R6実績	市ホームページで苦情相談に係るチャートや苦情相談書を掲載しました。			
		R7実績	市ホームページで苦情相談に係るチャートや苦情相談書を掲載しました。			
		R8実績				
オ	介護サービス相談員の派遣	相談員の派遣	－	700件	720件	740件
		実績	660件	508件	486件	
		進捗状況	－	若干遅れている	遅れている	
カ	要介護認定の円滑な実施体制の充実	要介護認定に関する情報の提供	－	6回	6回	6回
		実績	6回	7回	8回	
		進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	

基本目標 4 人に寄り添う介護サービス

基本施策 1 介護保険事業の円滑な実施

担当課	介護保険課、産業振興課
-----	-------------

施策（3）介護人材の確保及び介護現場の生産性向上

高齢化による介護ニーズの拡大に伴い、担い手となる介護職員の不足は大きな課題であり、介護サービス事業及び地域支援事業等に携わる人材を安定的に確保していく必要があるため、介護人材の確保・介護現場の生産性向上に向けた取組を推進します。

取組結果
ア 介護のイメージアップへの取組【重点事業】 介護事業所でいきいきと働く介護職員を紹介するPR動画を制作、YouTube等で公開し、介護職に就くことの魅力を発信すると共に職員のモチベーションアップを図る「ピカイチ☆フィルム」を公開しました。介護業界のあまり知られていない良い面をPRし、イメージアップを図りました。 カ 介護職員への定着支援【重点事業】 介護職員への定着支援として若手職員の交流の場を作る「わかつてカイ」を実施しました。令和7年度は、専門講師から学べるストレス対策をテーマに、8名に参加いただきました。参加者アンケートでは全員から、内容「満足」との回答が得られるとともに交流が深まりました。 キ スマート介護の推進【重点事業】 令和6年度から導入した、市役所の開庁時間に限られていた要介護認定の進捗状況の確認をいつでもWeb上のできる「平塚市要介護認定進捗状況確認システム」を継続利用し、事業所による電話での確認業務の負担軽減及び円滑な支援体制の構築、行政の認定業務の効率化につなげました。 また、ケアプランの管理作業の効率化に向けて、紙媒体での管理からシステムによる管理が可能となる「ケアプランデータ連携システム補助金事業」は、国の補助事業が始まったことにより、補助実績はありませんでした。
課題及び対応策
ア 介護のイメージアップへの取組【重点事業】 令和7年度は掲載事業所2か所を目標としましたが、1か所にとどまりました。事業所の協力が必要な事業であるため、当事業の趣旨を分かりやすく伝え、協力を得られるよう努めます。 カ 介護職員への定着支援【重点事業】 令和7年度は、「わかつてカイ」の累計出席者数45人を目標にしていたましたが、予定していた全2回のうち応募者少数により1回しか開催できず、目標人数にも届きませんでした。事業者と話し合いながら参加しやすい時期に開催するとともに、当事業が業務に役立ち、参加したいと思えるよう事業の魅力を向上し、多くの参加をいただけるよう努めます。 キ スマート介護の推進【重点事業】 引き続き介護現場の生産性の向上に向けて、ICTの活用を推進するとともに、市内介護事業者へのケアプランデータ連携システムの導入の促進に向けて、活用しやすい補助制度の周知を図ります。

【事業】

事業名	事業量	R 4	R 6	R 7	R 8
ア 介護のイメージアップへの取組【重点事業】	掲載事業所数	－	2件	2件	2件
	実績	2件	1件	1件	
	進捗状況	－	遅れている	遅れている	
イ 介護職場の魅力発信事業	掲載事業所数	－	110件	115件	120件
	実績	109件	117件	117件	
	進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	
ウ 就職相談会・事業所見学会の実施	参加者数	－	16人	16人	16人
	実績	16人	17人	23人	
	進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	
エ 介護入門的研修の実施	参加者数	－	15人	15人	15人
	実績	25人	36人	実施なし	
	進捗状況	－	予定どおり	遅れている	
オ 管理者等への職場環境改善研修等の実施	研修会等の受講者アンケート回収数	－	30件	30件	30件
	実績	31件	12件	22件	
	進捗状況	－	遅れている	若干遅れている	
カ 介護職員への定着支援【重点事業】	わかつてカイ出席者数【累計】	－	35人	45人	55人
	実績	14人	26人	34人	
	進捗状況	－	若干遅れている	若干遅れている	
キ スマート介護の推進【重点事業】	補助件数【累計】	－	15件	30件	40件
	実績	－	4件	0件	
	進捗状況	－	遅れている	遅れている	
ク 介護職員初任者研修受講の促進	補助件数	－	16件	16件	16件
	実績	14件	2件	5件	
	進捗状況	－	遅れている	遅れている	
ケ 若い世代へのすそ野拡大	参加者数	－	17人	17人	17人
	実績	27人	32人	270人	
	進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	
コ 外国人材確保への取組	R6実績	外国人材確保への取組について、次年度以降の施策展開の参考とするため、地域密着型サービス事業所を対象にニーズ調査を行いました。			
	R7実績	外国人材確保への取組に資する、外国人介護人材受入セミナーを実施しました。			
	R8実績				